

証券コード 9644



株式会社 タナベ経営

60TH
ANNIVERSARY
100

IR REPORT

第56期 中間ご報告

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日

Management Philosophy

経営理念

タナベ経営は、企業を愛し、
企業とともに歩み、企業繁栄に奉仕し、
広く社会に貢献すべく超一流の信用を軸とし、
国際的視野に立脚して無限の変化に挑み、
常にパイオニアとして世界への道を拓く。



Mission

使命

「ファーストコールカンパニー 100年先も一番に選ばれる会社」の創造

TOP INTERVIEW

トップインタビュー



代表取締役社長

若松 孝彦

Takahiko Wakamatsu

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は、2017年10月16日に創業60周年を迎えました。これもひとえに株主の皆さまのご支援の賜物であると心よりお礼申し上げます。

Q 当上半期（2017年4月1日～2017年9月30日）の実績を教えてください。

A 中期事業戦略である「C&C（コンサルティング&コングロマリット）戦略」（コンサルティング領域の多角化戦略 P9掲載図参照）を推進し、ドメイン（事業戦略）やファ

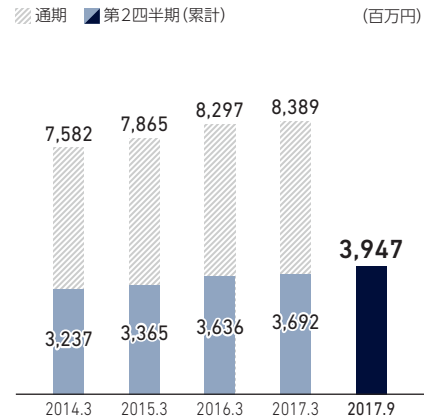
ンクション（組織戦略）の研究テーマを拡大いたしました。

経営コンサルティング事業では、「FCC*アカデミー（企業内大学）設立」「ビジネスモデルデザイン」等の経営コンサルティング契約が増加し、人材育成コンサルティングや階層別セミナーも好調に推移いたしました。また、「食品・フードサービス」「ヘルスケア」「住まいと暮らし」のス

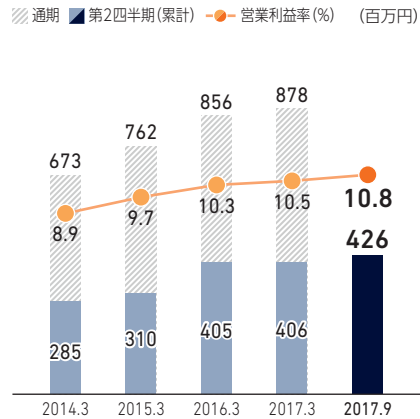
（注）本中間ご報告に記載の金額および株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

※「ファーストコールカンパニー」の略

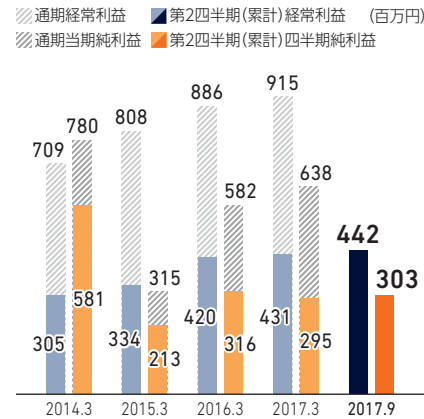
売上高



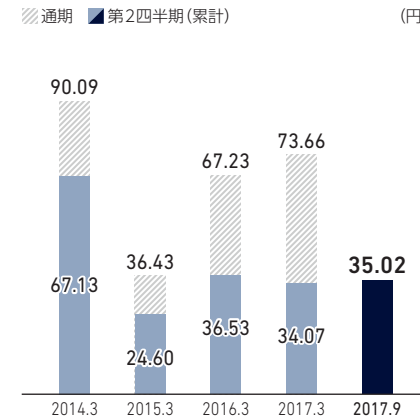
営業利益 / 営業利益率



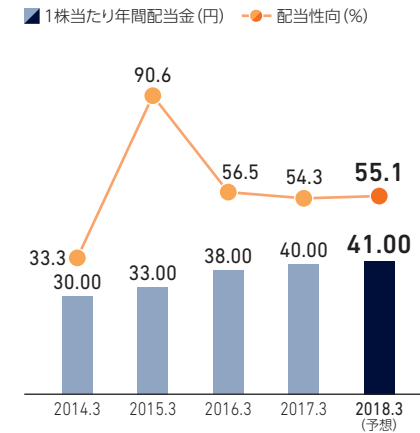
経常利益 / 四半期(当期) 純利益



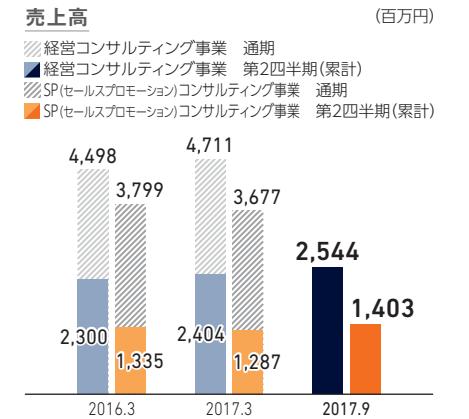
1株当たり四半期(当期) 純利益



1株当たり年間配当金 / 配当性向



経営 / SP セールスプロモーション コンサルティング事業



ペシャリストでそれぞれ構成される3つのドメインチームを東京本社内に新設し、各専門コンサルタントが全国で付加価値を提供できる体制の構築を図ってまいりました。

SP(セールスプロモーション)コンサルティング事業では、経営コンサルタントや上記ドメインチームとの連携・提案によるセールスプロモーションコンサルティング契約が増加し、戦略総合研究所「デザインラボ」の機能を活かした独自性の高いプロモーションツールも好調に推移いたしました。また、新たにGoogle合同会社、ヤフー株式会社とパートナーとなり、Webプロモーションコンサルティングもスタートいたしました。

以上の取り組みの結果、売上高39億47百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益4億26百万円(同比5.0%増)、経常利益4億42百万円(同比2.5%増)、四半期純利益3億3百万円(同比2.8%増)の増収増益となりました。

Q 通期の見通しとビジョンをお聞かせください。

A 引き続き、「C&C(コンサルティング&congromarit)戦略」を推進して顧客企業へのコンサルティング価値を高め、当社自身も「変化と成長」に挑んでまいります。

経営コンサルティング事業では、ドメイン・ファンクションコンサルティングに加え、顧客企業の人材育成・活躍と働き方改革を実現できる「FCCアカデミー(企業内大学)設立」コンサルティングを推進してまいります。また、全国約150のアライアンス先地域金融機関・会計事務所等を通じて、各地域のファーストコールカンパニーをより多く創造できる戦略を推進してまいります。

SP(セールスプロモーション)コンサルティング事業では、食品・住宅等の業種別プロモーション、こども・子育てマ

マや女性等の市場別プロモーション、Webプロモーション等のサービスメニューを強化するとともに、リ・ブランディングを実施している主力ブランド商品「ブルーダイアリー」手帳の販売を強化してまいります。また、SPデザイン等の商品についても、専門コンサルタントによるデザイン性・付加価値向上に引き続き努めてまいります。

そして、経営コンサルタント・人材育成コンサルタント・SPコンサルタントのチーム連携を強化し、企業経営を包括的に支援するという当社にしかできないコンサルティングモデルの推進を全社的に強化してまいります。

以上の取り組みにより、2018年3月期は、売上高85億50百万円(前期比1.9%増)、営業利益9億15百万円(同比4.1%増)、経常利益9億45百万円(同比3.3%増)、当期純利益6億45百万円(同比1.1%増)の達成を目指してまいります。

Q 株主さまへのメッセージをお願いします。

A 当期は、中期経営計画「Tanabe Vision 2020(前半)」の最終年度であります。その仕上げとして、前記の業績目標の達成と安定的な株主還元を目指すことにより、株主の皆さまのご期待に応えていく方針であります。

また、これからも「変化と成長」に挑み続ける戦略パートナーとして、「ファーストコールカンパニー 100年先も一番に選ばれる会社」を創造し、社会・地域の発展に寄与してまいります。そして、当社自身も、「100年経営」を目指して、持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を実現してまいります。

今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

タナベ経営 60年のあゆみ

当社は、おかげさまで本年10月16日に、創業60周年を迎えることができました。
株主の皆さまをはじめ、これまでお力添えいただきました関係者の皆さまの
永きにわたるご支援に深く感謝いたします。

TANABE MANAGEMENT CONSULTING'S HISTORY

60TH
ANNIVERSARY
100



We're Business Doctors!

「ファーストコールカンパニー 100年先も一番に選ばれる会社」の創造を支援

FCC

First Call Company

100年先も一番に選ばれる会社

5 ブランディングと顧客(ファン)の拡大

4 マネジメントの強化

3 経営戦略・事業戦略の構築・実行

2 夢のある理念・ビジョンの策定

1 人と組織の活力向上

当社は、全国主要 10 都市にファームを展開する地域密着型「経営の総合病院」。

様々な診療メニューを揃え、理念・ビジョンの策定から

現場でのプロモーション、人材育成まで企業経営をワンストップで支援し、

「ファーストコールカンパニー 100 年先も一番に選ばれる会社」の創造を支援しております。

5 ブランディングと顧客(ファン)の拡大

ブランディング

CI

マーケティング

業種別プロモーション

Webプロモーション

商品開発・デザイン

4 マネジメントの強化

営業力強化

財務戦略

生産管理・効率化

物流改善

開発力強化

5S・見える化

3 経営戦略・事業戦略の構築・実行

新規事業開発

事業領域別戦略

事業承継(次世代経営チーム育成)

事業再生

M & A

2 夢のある理念・ビジョンの策定

経営理念・ミッション策定

中期経営計画策定

IPO実現

1 人と組織の活力向上

人材育成・活躍

FCCアカデミー(企業内大学)設立

働き方改革

ダイバーシティ人事・採用

組織デザイン

階層別セミナー

食品・
フードサービス

ヘルスケア

Web・デジタル

ビジネスモデル

観光・ツーリズム

ロジスティクス

こども・子育て
ファミリーマーケット

教育・学習

建 設

住まいと暮らし

小売・サービス

ものづくり

アグリ

ウェルネス

TAX? 会計事務所

金融機関

FCC Academy
Cloud

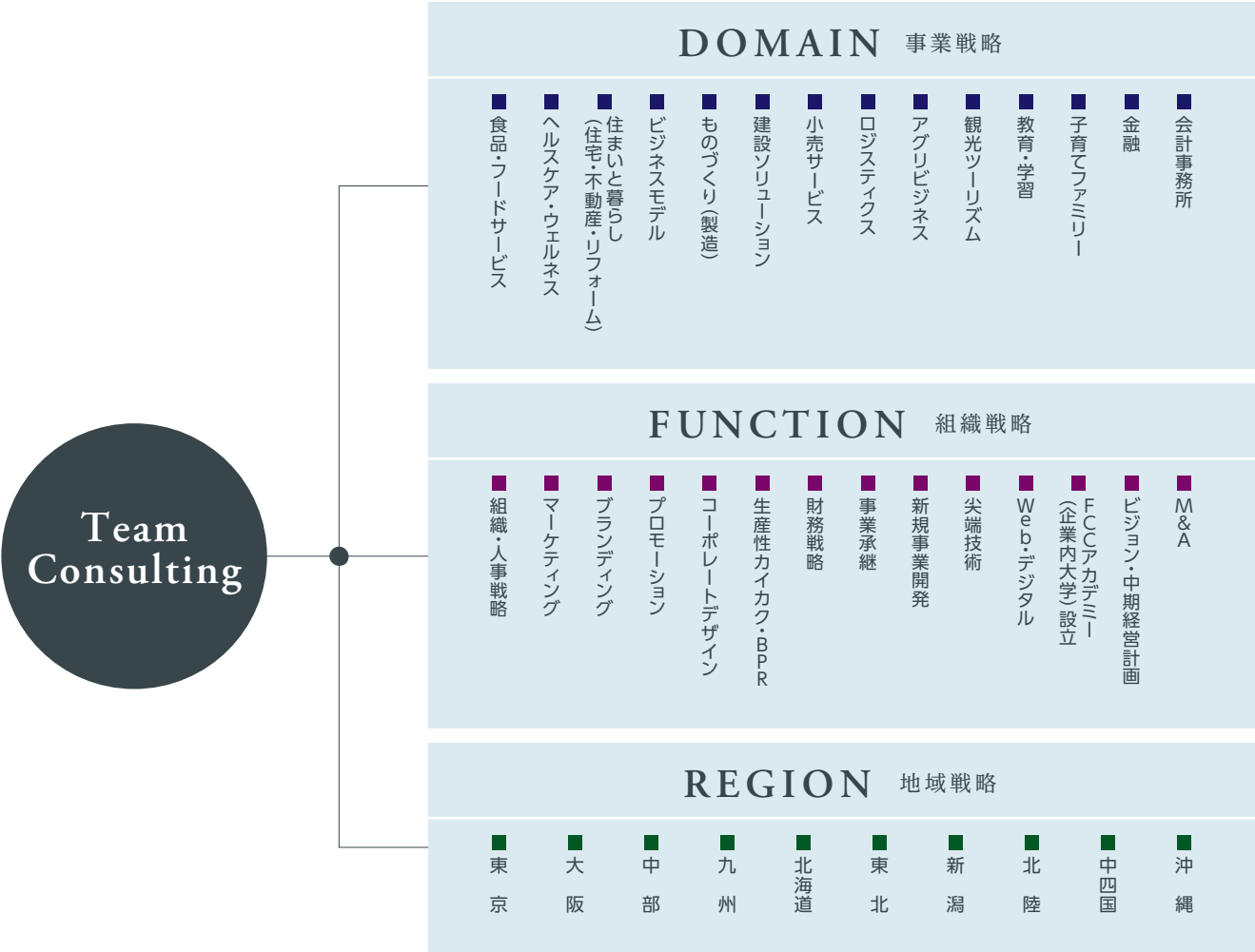


企業オリジナルの教育動画コンテンツをクラウド上に保存し、誰もが、いつでもどこでも効率的に学べる。

C&C(コンサルティング&コングロマリット)戦略

「ドメイン(事業戦略)×ファンクション(組織戦略)×リージョン(地域戦略)」の3つの視点から、顧客課題に合わせて、最適なスペシャリストを選定してチームを組成する「チームコンサルティング」が当社の強みです。

そして、高度化・多様化していく顧客課題を解決するため、診療メニューの拡大(コンサルティング領域の多角化)を推進しています。



TANABE Topics

タナベトピックス

ブルーダイアリーのブランドリニューアルを実施

当社の代表的なブランド商品である手帳「ブルーダイアリー」が、2019年に発行60周年を迎えるにあたり、リ・ブランディングに取り組んでおり、新しいロゴが生まれ、ブランドサイトも新しくなりました。



<https://www.bluediary.jp/>

日経BP社主催働き方改革戦略フォーラムに協賛

2017年10月18日にベルサール神田(東京)にて「働き方改革」をテーマにしたフォーラムを開催いたしました。基調講演としてジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の日色社長にご講演いただき、当社社長の若松も、「FCCアカデミー(企業内大学)」について講演いたしました。当日は、約300名の方々にご参加いただき、大盛況のうちに終了いたしました。



TOPページ



手帳のこだわりページ



コンセプトページ



WHAT'S TANABE

数字で見るタナベ経営

1957年10月16日
創業

創業 **60** 年

有料会員数

約 **9,000** 社

2016年度
セミナー年間参加者数

8,944 人

SP(セールスプロモーション)
コンサルティング事業
2016年度
直接法人顧客数

3,190 社

創業以来の
コンサルティング社数

6,000 社以上

2017年9月末
金融機関・会計事務所等の
アライアンス(提携)先数

143 提携先

沖縄支社

九州本部

中四国支社

北海道支社

新潟支社

北陸支社

東北支社

中部本部
SP 名古屋

東京本社

東京本部
SP 東京本部
戦略総合研究所(東京)

大阪本社

大阪本部
マネジメントパートナーズ本部
SP 大阪本部
戦略総合研究所(大阪)

※拠点情報につきましては2017年9月30日現在の情報となります。

FINANCIAL STATEMENTS 財務諸表

Point 1 資産

流動資産は、前渡金の増加等がありましたが、配当金の支払等による現金及び預金の減少等により、2億46百万円減少し、固定資産は、役員に対する保険積立金や前払年金費用の増加等により、47百万円増加したため、資産トータルでは1億98百万円の減少となりました。

Point 2 負債

流動負債は、前受金の増加等がありましたが、未払金や買掛金の減少等により、1億62百万円減少し、固定負債は、退職給付引当金は減少しましたが、リース債務や役員退職慰労引当金の増加等により、22百万円増加したため、負債トータルでは1億39百万円の減少となりました。

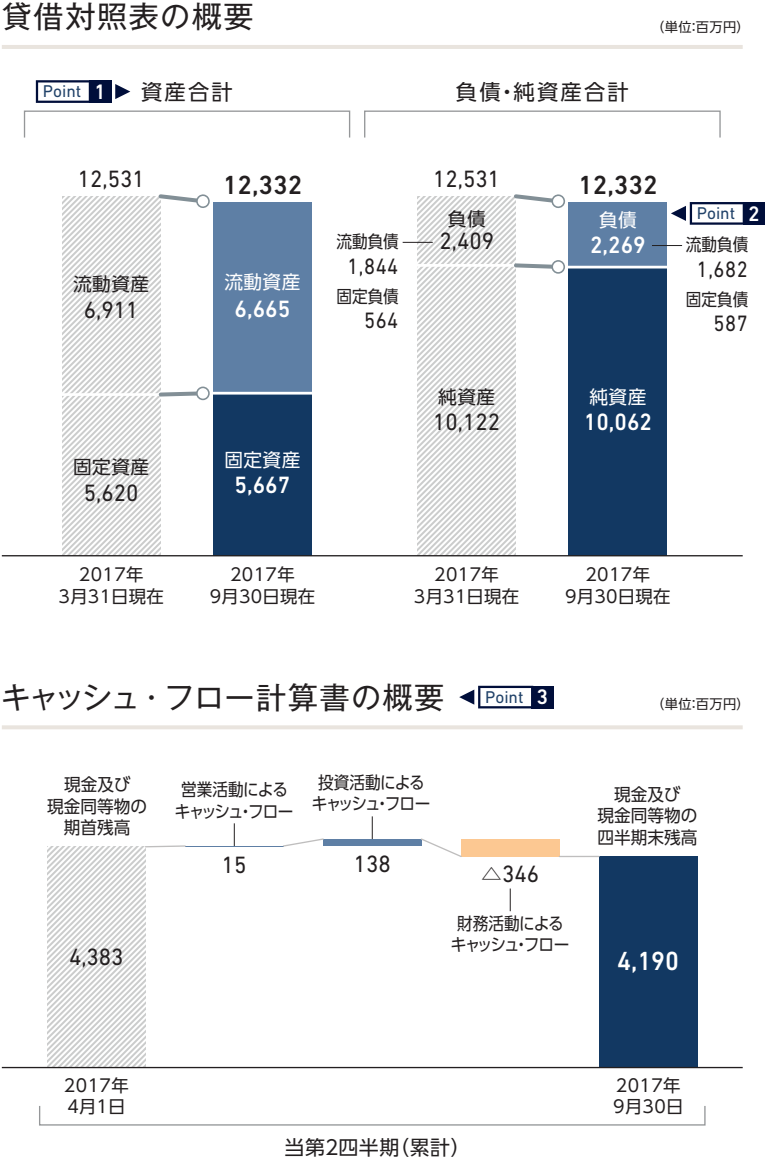
Point 3 キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、前渡金の増加や法人税等の支払等がありましたが、税引前四半期純利益分の増加等があったため、トータル15百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出等がありましたが、有価証券の売却及び償還による収入等があったため、トータル1億38百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等があったため、3億46百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、41億90百万円となりました。



CORPORATE PROFILE & STOCK INFORMATION 会社&株式情報

商号	株式会社タナベ経営 TANABE MANAGEMENT CONSULTING CO., LTD.
本社所在地	大阪市淀川区宮原 3 - 3 -41
ホームページ	http://www.tanabekeiei.co.jp
創業	1957年10月16日
設立	1963年4月1日
資本金	1,772百万円
社員数	330名
役員	
代表取締役会長	田 辺 次 良
代表取締役社長	若 松 孝 彦 コンプライアンス担当
取締役副社長	長 尾 吉 邦 コンサルティング戦略本部長 兼 戦略総合研究所担当・ SPコンサルティング本部担当
常務取締役	大 川 雅 弘 コンサルティング戦略本部 中部本部・北陸支社担当 兼 地域FCC戦略担当
常務取締役	中 村 敏 之 コンサルティング戦略本部 北海道支社・東北支社担当 兼 ドメイン戦略担当
常務取締役	南 川 典 人 コンサルティング戦略本部 九州本部・中四国支社担当 兼 アライアンス戦略担当
取締役	中 東 和 男 マネジメントパートナーズ本部担当
取締役	仲宗根 政 則 コンサルティング戦略本部 東京本部・新潟支社担当
取締役	藁 田 勝 コンサルティング戦略本部 大阪本部・沖縄支社担当
取締役	松 永 匡 弘 経営管理本部長
社外取締役	市 田 龍 公認会計士(市田龍公認会計士事務所 所長) 京福電気鉄道株式会社 社外監査役 株式会社グアイセル 社外監査役
社外取締役	住 田 淳
常勤監査役	中 野 廣 章
社外監査役	谷 宜 憲 弁護士(谷宜憲法律事務所 代表)
社外監査役	矢 崎 晴 久 アールワイ保険サービス株式会社 代表取締役会長 櫻護謨株式会社 社外監査役

事業所

本 社	コンサルティング戦略本部	SPコンサルティング本部
大 阪 本 社	東 京 本 部	東 京 本 部
大 東 京 本 社	中 部 本 部	大 阪 本 部
	大 阪 本 部	名 古 屋 部
マネジメントパートナーズ本部	大 九 州 本 部	商 品 部
大 阪	北 海 道 支 社	管 理 部
	東 北 支 社	
	新 潟 支 社	
	北 陸 支 社	
	中 四 国 支 社	
大 東 京 沖 縄 支 社		

発行可能株式総数	35,000,000株
発行済株式の総数	8,754,200株
1単元の株式数	100株
株主数	9,500名

大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
田 辺 次 良	1,210 (千株)	13.9 (%)
田 邊 洋 一 郎	1,115	12.8
檜 崎 十 紀	875	10.1
タナベ経営取引先持株会	278	3.2
上 田 信 一	258	2.9
タナベ経営社員持株会	235	2.7
木 元 仁 志	161	1.8
田 原 敏 男	144	1.6
三菱UFJ信託銀行株式会社	129	1.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	97	1.1

(注) 持株比率は自己株式(91,039株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

個人・その他	7,942千株	90.7%
金融機関	569千株	6.5%
事業会社・その他法人	138千株	1.6%
外国法人等	103千株	1.2%

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (フリーダイヤル)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL
<http://www.tanabekeiei.co.jp/koukoku/index.htm>
ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

お知らせ

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 当社では毎年9月30日現在、100株以上保有の株主の皆さまに当社の特製手帳を贈呈いたします。ご愛用いただければ幸甚に存じます。



有害廃液を排出しない
「水なし印刷方式」を採用しています。

株主さま向けアンケート

株主のみなさまの声を お聞かせください

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9644

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjw.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本書がお手元
に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ
「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。



環境にやさしい植物油
インキ(ベジタブルインキ)
を使用しています。